



入学・進級おめでとうございます。田無第四中学校図書館は、3階にあります。週3回 月・水・金に開館しています。本校の学校司書は、向台小・柳沢小司書の2人交代で開館しています。新しく入学した1年生のみなさんは、小学校とは少し違う図書館に最初は戸惑うかもしれません。中学校では小学校のような毎週の図書の時間はありません。開館時間は自由に手に取って読むこともできるし借りることもできます。さまざまなジャンルの本を準備していますよ。新な本の世界を広げていきましょう。



図書館の開館日時

月・水・金曜日 昼休み・放課後

貸出 ひとり3冊 2週間 昼休み・放課後
返却 図書館入口の返却ボックス(ポスト)へ

「図書館利用案内」を配布しています。

利用方法をいま一度確認しましょう。

俳句といえば・・・



小林 一茶

1763-1828

江戸時代後期に活躍した俳人の小林一茶。一茶は現在の長野県信濃町にあたる信濃国柏原の農家に生まれました。15歳で江戸に奉公に出ますが、その時に俳句を学び、その後は旅をしながら俳句の修行を続けました。

幼い頃に実母を亡くし、50歳を過ぎて結婚して得た妻と子ども達には次々と先立たれるという、幸福な家庭とは縁の薄い人生でした。小さな生きものや子どもたちに対するやさしい俳句の数々は、そうした一茶の悲しみの裏返しかもしれません。



春にはこんな本はいかが？

春や春

森谷明子：著 913モ

高校に入学した茜は俳句好きな女の子。ふとしたことから学校の国語の先生と俳句に関して議論したことで、俳句好きの友達ができ「俳句甲子園」を目指して同好会を設立することになります。17音で広がる俳句の情景を少女たちの鋭い感性で描いています。ひとつひとつの言葉の意味と奥深さを改めて感じ味わうことができる青春小説です。



桜守のはなし

佐野藤右衛門：作 627サ

日本全国を飛び回り、傷ついた桜の

手当てをして、桜の新種を探す佐野さんは「桜守」とよばれています。桜守の仕事は桜が散って芽がでてからはじまります。「守るといっても保護するわけやない。愛情はかけるけどかまいすぎてもあきまへん。」佐野さんの言葉には、桜に込めた深い愛情を感じます。春だけではなく四季を通しての美しい桜の写真も素敵です。

いのちの車窓から2

星野源：著 914ホ

歌手・俳優・そして作家としてさまざまな顔を持ち活躍中の星野源さんが毎日の中で感じたことや思ったことを綴ったエッセイ集です。忙しい毎日の中での小さな幸せや悩んだことなど、そのひとつひとつの言葉がやさしくて読んでしていると自然に心がほぐれていきます。深い思考と言葉のチョイスが絶妙です。有名人の生活ってどんなかんじなの？ふだんはどんなことを考えているの？そんなことが気になる人にもぴったりの1冊です。